

令和6年5月20日

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	大和東高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制課程普通科
-----	---------	------------------	----------

1 学校のミッション

- 全日制的課程学年制普通科の高校(クリエイティブスクール)として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学びに向かう力を育むとともに、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 自立した個人として、自分で考え、責任ある行動ができる人材の育成をめざし、基礎的・基本的な知識とそれを活用するための思考力・判断力・表現力、社会実践力、他者と関わる力等、これからの社会に求められる資質・能力を育成するための教育に取り組む。
- 生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえた適切な支援、学習状況に応じた学び直しの導入、主体的・対話的で深い学びを実現するための不断の授業改善、地域行事や防災教室など、生徒が活躍する場面の創出等、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 生徒一人ひとりの学習状況に応じたきめ細かな学習活動により確かな学力の育成を図る。
- 外部機関等とも連携した全職員一体となった組織的な支援体制により、生徒一人ひとりの抱える多様な課題の解決を図る。
- 地域・社会とつながる系統的なキャリア教育を実践し、自立した個人として必要な社会実践力を備え、社会や他者と適切にかかわる力を備えた生徒を育成する。
- 部活動やボランティア活動なども含めた教育活動全体を通して、自分で考え、責任ある選択と行動ができる生徒を育成する。
- 地域等との協働による学校づくりを推進し、生徒が学ぶ安全・安心な教育環境づくりに取り組む。

3 計画策定時点での課題

- 学び直しを必要とする生徒も多く、学力の幅が拡大していることから、授業や教育環境のユニバーサルデザイン化に加え、生徒の意識改革や基礎・基本の定着につながる学習支援体制が必要である。
- 教育相談件数も増加し、生徒や家庭の課題も深刻化していることから、SC・SSW・SCC等と連携した組織的な生活指導・教育相談体制の強化が必要である。
- 進路希望が多様化しており、就職者の増加や進路未定者の解消につながる系統的なキャリア支援が必要である。
- 加入率が20%台となっている部活動や、学校行事の活性化により、生徒同士や生徒と学校等の一体感を高めたい。
- 組織的な授業改善や校内授業研究を活性化させ、ICT利活用等を意識した「わかる授業」を実践し、主体的に取り組むことのできる生徒を育成する必要がある。
- コミュニティ・スクールとして地域と学校との相互連携を強め、外部の教育力を活用した学習支援・キャリア支援等の教育活動を推進することで、地域に開かれた学校づくりを推進する。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりの個性・可能性の開発と伸長が図れる教育を実践する。 ○必要な社会実践力を具体化し、それを身につけさせる。 ○学ぶ意欲、学ぶ楽しさを意識した授業改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発表の場面だけでなく、探究活動を設定する中で様々な使い方を教員間で研究し共有する。 ○教科横断的な視点をもった授業で、様々な場面で活用できる力をつける。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○組織的な支援体制により、生徒一人ひとりが落ち着いて学習に取り組める環境を整える。 ○生徒を支援するという視点を持って、生徒指導を進め、学習・生活環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行事内のセッションを増やして生徒がリーダーシップを発揮する場面をつくる。 ○サポートドックや面談など様々な機会から得た情報を支援に繋げる。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○自立した個人として自己のキャリア意識を高め、社会と関わり貢献できる生徒を育成する。 ○進路体験活動及び進路フェアの充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○タイムリーな進路行事で生徒をサポートする。 ○生徒が進路活動する際に体験できる機会を設定する。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者や地域との協働による学校づくりを推進し、人と社会と未来につながる開かれた学校づくりを推進する。 ○中学生及びその保護者に本校の特色・情報等を効果的に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の行事に生徒ボランティアを派遣する。さらに派遣先を増やす。 ○本校の教育活動を十分理解してもらうために学校説明会、個別相談会及びSNS発信を充実させる。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての職員が学校運営の主体としての意識を共有し、一体となって教育活動に取り組む組織づくりを行う。 ○職員の同僚性を高め事故・不祥事ゼロを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○非常時の安全確保のために、防災関連器具・用品を整備する。 ○管理職と職員相互が常に相談・連絡ができる関係をつくり事故・不祥事が起こせない環境をつくる。